
東方人鳥録

カルピスオレンジ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

東方人鳥録

【Nコード】

N4763Z

【作者名】

カルピスオレンジ

【あらすじ】

気がついたら人間じゃなくなっていた俺。どうしようかと悩んだものの、とりあえず蟲とかじゃなかったんでいいやと思い、そのまま生きていくことにしました。これはそんな俺の、何の変哲も無い物語。

序章〱何の意味もないプロローグ〱（前書き）

勢いで書いてみた今回の小説。

更新は確実に遅くなるし、内容も薄くなっちゃったりするかもしれません。

長く優しく温かい目で見守ってくださいお願いします

序章 何の意味もないプロローグ

全ては、あの日から始まった。

いつも通りの朝。いつも通りの学校。いつも通りの友達とのバカ話。いつも通りの退屈な授業。いつも通りの昼下がりに。いつも通りの寄り道。言い始めたらキリがない。

ただ、いつもと明確に違ったのが、空が紅く染まる夕暮れ時だった。

下校途中に寄った本屋の帰り。特に何も買わずに面白そうな小説を流し読みしただけなので、荷物はいつも通りほぼ空っぽのカバンのみ。沈み行く太陽の、それでもしぶとく発せられる太陽光線を体に浴びながら、家までの道をとぼとぼと歩いていった。

その時だった。

「ねえ、お兄さん」

と、不意に背後から声をかけられたのだ。俺は特に何も考えずに振り向いた。

そこにいたのは幼い少女、つまりは幼女。金色の長い髪に黒いドレスがよく見える。

この道は一本道で、たった今通った所に誰かいるのはおかしいとか、こんな小さい子がこんな時間に一人で何をしているのかとか、

さっきの言葉は十中八九この子が言ったのだろうけど、それにしてはこの頃のこの子ども特有の舌足らずな感じが無いとか、どうして俺を呼び止めたのだろうとか、色々疑問は浮かんできたもの、とりあえずそれを全部まとめて放り投げ、

「何か用かい、お嬢ちゃん」

当たり前のように言葉を返した。

ロリコンとペドフィリアを併発させているこの俺が、可愛らしい幼女に話しかけられて反応しない訳が無い。

いやいやそれにしても、見れば見るほど愛らしい。まるでお人形さんみたいだ。本当に良く出来ている。

…気持ち悪いくらいに。

「ねえ、お兄さん」

もう一度少女が言う。どう見ても、彼女の唇は動いていないけど。

「好きな動物って、なに？」

……動物か……いきなり言われてもぱつと出てこないよな。無難に、犬猫とか言つとけばいいのか。もしくはこの場合、人間というやや変化球気味の回答は認められるのだろうか。

くだらない事を考えて首を捻る俺を、お人形のような女の子はじっとみつめる。ガラス玉の瞳で見つめる。

ふと、丁度横の扉にポスターが貼ってあるのに気付いた。昨日は無かったはずだから今日貼られたのだろう。近々オープンするとい

う水族館のポスター。デフォルメされたキャラクターと動物の写真。
……うん、これでいいか。

ポスターに向けていた視線を少女に戻す。目を離しているうちに、もしかしたら消えてるんじゃないかなー、とも思ったがそんなことは無いらしい。

まあそんなことはどうでもいいんだ。少女の質問に答えよう。上手く誘導すれば一緒に水族館に行く事だって出来ないこともない。

「俺が好きな動物は、ペンギンだ」

「ペン…ギン？」

こてんと首を傾げる少女。これで首が外れたら面白いのに、なんて思いつつ、ポスターを指差して「これだよ」と教えてあげる。ふんぶん、と確認するように写真を見て、少女は、

「じゃあ、これでいい」

言葉が終わると同時に少女の姿は陽炎のように消え去り、そして、俺の視界に何も映らなくなった。

序章〜何の意味もないプロローグ〜(後書き)

次回の投稿、未定！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4763z/>

東方人鳥録

2011年12月16日01時47分発行